

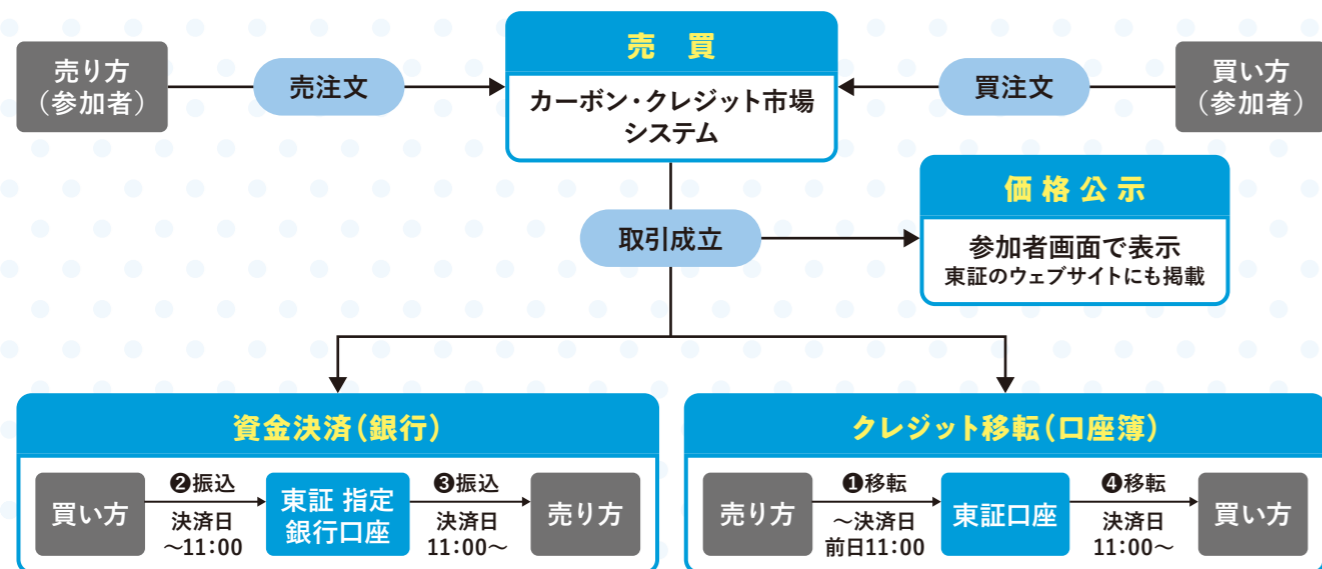
2023年10月、東京証券取引所が「カーボン・クレジット市場」を開設しました!

2022年度の取引実証の結果を踏まえ、東京証券取引所に、2023年10月11日に、188団体が参加してカーボン・クレジット市場が開設されました。

この市場では、登録参加者がJ-クレジットを株式や債券のように、1t単位でインターネットで売買することができます。



J-クレジットの取引イメージ



概要

- ① 利便性を高めるため、注文は「インターネット接続」
- ② 安全性確保のため、クレジット移転と資金決済では、東証が、売り方参加者と買い方参加者の間に入ります。元本リスクを排除する決済方式*とします。

*クレジット移転の不履行が発生した場合は、資金決済が不要に、資金決済の不履行が発生した場合はクレジットの返還を行います。

決済手順

- ※約定成立日から起算して5営業日以降に実施
- ① 決済日前日の11:00まで 売り方→東証へのクレジット移転
 - ② 決済日の11:00まで 買い方→東証への資金振込
 - ③ 決済日の11:00以降 東証→売り方への資金振込
 - ④ 決済日の11:00以降 東証→買い方へのクレジット移転

※出展: 2023年 株式会社東京証券取引所「カーボン・クレジット市場の概要」(公表データを基に県が作成)

東京証券取引所が扱うJ-クレジットの売買区分の例 (このほかに国内クレジット、J-VER移行型等があります)

①	省エネルギー
②	再生可能エネルギー(電力)
③	再生可能エネルギー(熱)
④	再生可能エネルギー(電力及び熱混合)
⑤	森林
⑥	その他(工業プロセス、農業、廃棄物等)

J-クレジットの方法論(大分類)ごとの加重平均取引価格*

方法論	加重平均価格(円)
省エネルギー	1,431
再生可能エネルギー	2,953
森林	14,571

*2022年の実証期間中の取引価格

できることから始めよう♪ **みんな**で
ストップ・ザ・温暖化あきた

知って、減らして、オフセット

秋田ではじめる
人に、地域に、地球にやさしい

ゼロカーボン アクション

J-クレジット制度のご紹介



地球温暖化を考える少女
ちよみ



地球温暖化をに立ち向かう
パパ



秋田県

できることから始めよう♪ **みんな**で

ストップ・ザ・温暖化あきた

秋田県生活環境部 温暖化対策課

〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号
TEL 018-860-1573 FAX 018-860-3881
E-mail en-ondanka@pref.akita.lg.jp



画: おおひなたごう

1969年秋田県生まれ、秋田県羽後町出身。1991年デビュー以来、ギャグマンガをメインに様々な媒体で作品を発表。人々の食べ方の差異を描いたグルメマンガ「目玉焼きの黄身いつつぶす?」(KADOKAWA)はコミックス全12巻刊行。2014年にはNHKでアニメ化、2017年にはMBS系列で実写ドラマ化された。現在は京都精華大学新世代マンガコース専任教員として教鞭をとっている。

知って、減らして、オフセット 人に、地域に、地球にやさしく… 企業の脱炭素化

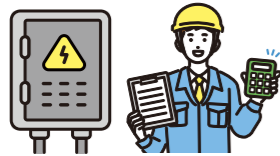
事業活動によって生じる地球温暖化の原因と具体的なゼロカーボンアクションに取り組むなど、気候変動対策の視点を織り込んだ経営に取り組む企業が増えてきています。

ゼロカーボンアクション 1

CO₂排出状況を「知る」

省エネ診断士などの専門家に調査してもらい、工場や店舗、オフィスなどのエネルギー使用状況やCO₂排出量を把握します。
また、県内には、CO₂排出量の算定サービスを提供している金融機関もあります。

省エネ診断



エネルギーの見える化



CO₂削減ポテンシャル診断



まず現状を知ることが脱炭素への第一歩だね！



現状を踏まえて、しっかり計画を立てて進めることが重要だよ



ゼロカーボンアクション 2

CO₂排出量を「減らす」

現状を把握したうえで、CO₂排出量を減らすために必要な取り組みを、どのように進めていくのかなどを計画して、実際に行います。

業務の進め方や設備運用の見直し



省エネの実践や設備の更新



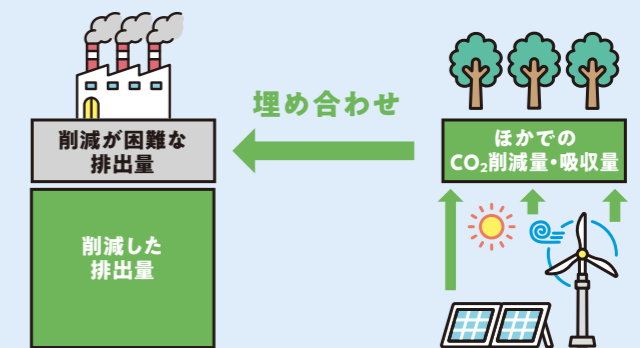
再生可能エネルギーの導入



ゼロカーボンアクション 3

どうしても減らせない分は「オフセット」

企業が事業活動を続けていくうえでは、どれだけ削減努力を行ったとしても、CO₂排出量を完全にゼロにすることは、とても困難です。そこで活用できるのが「J-クレジット制度」という仕組み。
この仕組みを活用することで、どうしても減らすことが困難なCO₂排出量を、企業、農業者、森林所有者、地方自治体などが創り出した削減量や森林吸収量を購入して埋め合わせる(オフセットする)ことが可能になります！



企業の脱炭素経営をサポート！

各種診断を通じて県内事業者の省エネを応援しています

秋田県の省エネお助け隊 **あきた省エネプラットフォーム**

【プラットフォーム事務局】株式会社あきぎんリサーチ&コンサルティング/TEL.018-863-1221 FAX.018-863-1245(平日9:00~17:00)

詳しくはこちら



企業のゼロカーボンアクションの参考となる情報を紹介

環境省 **脱炭素ポータル** -企業の方へ-

CO₂排出量の削減計画策定

補助金などの支援メニュー

関係する法制度や政策の解説

詳しくはこちら



排出されたCO₂を埋め合わせる!? 「J-クレジット」ってどんな制度?

省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用によるCO₂の排出削減量や、適切な森林管理によるCO₂の吸収量をクレジットとして国が認証する制度です。認証を受けて発行されたクレジットは、売買仲介、相対取引、入札販売、取引所取引の4つの方法で売り買いすることができます。



1 J-クレジットを創る

J-クレジットは、企業、地方公共団体、森林所有者などが登録しているプロジェクト(CO₂の排出削減・吸収事業)を実行する過程で、認証・発行されています。また、認証・発行にかかる書類作成や審査費用には支援が行われています(※支援内容・条件は毎年度見直しがあります。)

J-クレジット制度
オフィシャルウェブサイト
「申請手続」

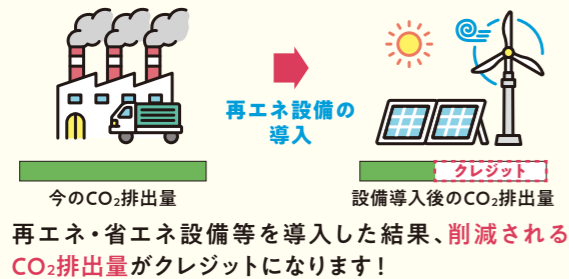
<https://japancredit.go.jp/application/>



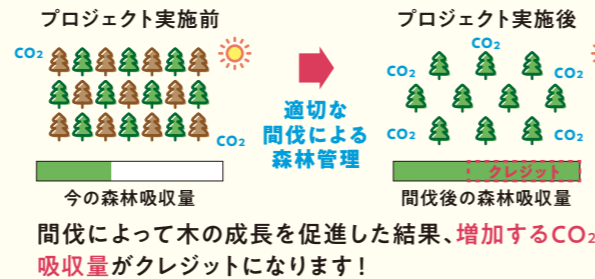
CO₂の排出削減・吸収量の増加につながるプロジェクトの主な内容

省エネ設備の導入 高効率ボイラーの導入 LED照明への転換	再生可能エネルギーの導入 太陽光発電設備 木質バイオマス	適切な森林管理 間伐 植林
--	---	--------------------------------

排出削減クレジットの考え方(例)



森林吸収クレジットの考え方(例)



¥
クレジットを売却

¥
クレジットを購入

資金が循環

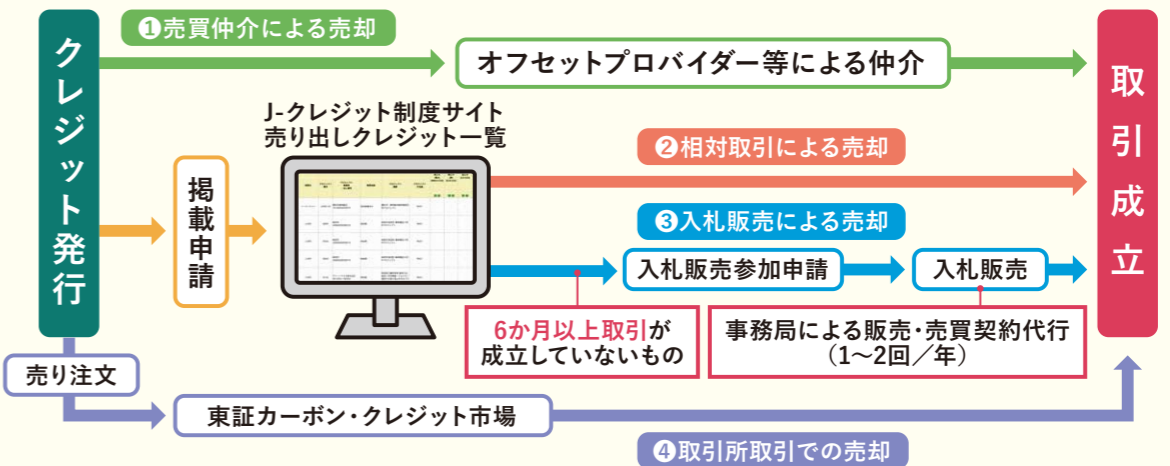
2 J-クレジットを売る・買う

売却・購入の方法

J-クレジットの売却と購入の方法として、次の4つの方法があります。

- J-クレジット・プロバイダー等による売買仲介
- 公式ウェブサイト『売り出しクレジット一覧』掲載による相対取引
- J-クレジット制度事務局が実施する入札販売
- 東京証券取引所のカーボン・クレジット市場での取引

手続きに不安がある場合はJ-クレジット制度事務局で事前確認をしてくれるから問い合わせよう。



J-クレジット制度
オフィシャルウェブサイト
「売却方法(売りたい方)」

<https://japancredit.go.jp/market/sell/>



J-クレジット制度
オフィシャルウェブサイト
「購入方法(買いたい方)」

<https://japancredit.go.jp/market/buy/>



3 J-クレジットを使う

購入したクレジットを使う手続き

J-クレジットを使ってオフセットするには、J-クレジット登録簿システムで無効化手続きを行います。手続きにはJ-クレジット管理用口座が必要となりますが、保有していない場合は、J-クレジット・プロバイダーなどによる代理手続きも可能です。代理の無効化申請(J-クレジットを使う申請)を希望する場合は、プロバイダー各社が「売り出しクレジット一覧」のクレジット保有者(※販売のみの場合もあります。)にご相談ください。

J-クレジット・プロバイダーとは?

J-クレジット制度に基づき認証されるクレジットの創出や活用を支援する事業者のことです。

J-クレジット制度オフィシャルウェブサイト
「J-クレジット・プロバイダー」

<https://japancredit.go.jp/market/offset/>



クレジットの使い方(例)

J-クレジットを活用したオフセットによって、CO₂排出量を実質ゼロにした事業活動の実現に近づけることができます。また、オフセットと商品・サービスを組み合わせることで、「環境に配慮した」「地球にやさしい」といった付加価値が生まれます。

J-クレジット制度
オフィシャルウェブサイト
「クレジット活用事例一覧」

https://japancredit.go.jp/case_search/



オフセット製品 コンビニエンスストアチェーンなど
環境配慮型プライベートブランドを設立し、商品の原料から製造、廃棄までのCO₂排出量をオフセット。

オフセットサービス 土地・不動産・建設業など
建物の引渡しまでに現場事務所で消費するエネルギー(電気・ガス・水)から排出されるCO₂排出量をオフセット。

クレジット付き製品 飲料メーカーなど
排出権付き飲料を販売し、購入者の生活から排出されるCO₂排出量の一部をオフセット。

イベント等のオフセット あきたエコフェスなど
秋田県最大の環境イベントの出演者などの車両移動から発生するCO₂排出量をオフセット。

広げよう！J-クレジット活用の輪 ～地域、企業、消費者でつくる環境にやさしい社会～

地域の活性化に貢献

J-クレジットの地産地消



例えば…秋田ノーザンハピネッツ（令和4～5年度）

県では、連携プロジェクトとして、県内の森林吸収クレジットを活用して、令和4年度はゼロカーボンゲームを12月に開催し、令和5年度はゼロカーボンチャレンジシーズンを展開しています。

三種町有林 森林CO₂吸収J-VER事業「じゅんさい栽培の水源と里山を守るプロジェクト」、雄物川流域東成瀬村仙人郷の森CO₂吸収事業「ホテルの楽園とおいしい湧水を守る地域振興間伐促進プロジェクト」のクレジットを使い、令和5年度は20tのカーボンオフセットを実施しました。



J-クレジット活用による地域貢献のイメージ

J-クレジット売却益

例えば…

創出者の地元企業は、売却益をさらなる再エネ・省エネ設備への投資などに使うことができます。

例えば…

創出者の地元自治体は、売却益を森林資源の整備にかかる費用の一部に充てながら、森林環境の保全活動を続けられます。

地域全体での
カーボンニュートラルにも貢献！



企業の環境付加価値を高める

企業評価の向上

温対法・省エネ法などの報告やSBTなどの国際的イニシアティブでの活用のほか、各種企業評価調査やCSR・サステナビリティ報告書等でクレジット購入をPRすることで、さらなる企業評価につながられます。

「クレジットの活用方法」と「方法論」の関係

排出削減・吸収の方法ごとに、活用することができる法定報告などに違いがありますので、実際に活用する際には注意が必要です。

クレジットの活用方法の例 <small>(このほかの活用方法については、J-クレジット制度オフィシャルウェブサイト「J-クレジットの活用方法」をご確認ください。)</small>	再エネ (電力)	再エネ (熱)	省エネ	森林 吸収	その他
温対法での報告(排出量・排出係数調整)	○	○	○	○	○
省エネ法での報告(定期報告における非化石エネルギー使用割合の報告)	○	○	△	×	×
カーボン・オフセットでの使用	○	○	○	○	○
SBTでの報告	○	○	×	×	×
CDP質問書での報告	○	○	×	×	×

○…利用可 △…一部利用可 ×…利用不可

ほかにも…

商品・サービスの差別化・ブランディング、
クレジット購入先とのビジネス機会獲得・
ネットワーク構築

J-クレジット制度
オフィシャルウェブサイト
「J-クレジットの活用方法」
<https://japancredit.go.jp/case/outline/>

詳しくはこちら



環境に配慮した地球にやさしい暮らしに対応

消費者は、カーボン・オフセットによって環境価値が付加された商品やサービスの購入を通じて脱炭素に取り組む企業を応援することにより、日々の暮らしの中でより良い地域、社会、環境の実現に貢献することができます。



印刷複合機



食べ物



旅行

カーボンニュートラルの取り組み機運が高まる中で、カーボン・オフセットに対する消費者の認知度・好感度も、さらに上がっていくことが予想されます。

J-クレジット活用の輪が広がることで、消費者が環境にやさしいオフセット商品・サービスを選択できる機会が増え、さらなる需要へのつながりも期待できます。

県内のプロジェクトはこちらで検索できます

J-クレジット制度オフィシャルウェブサイト
「登録プロジェクト一覧」

<https://japancredit.go.jp/project/>

詳しくはこちら

